

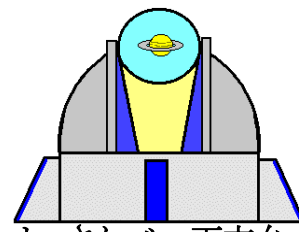


Shosanbetsu Astronomical Observatory

天文台だより

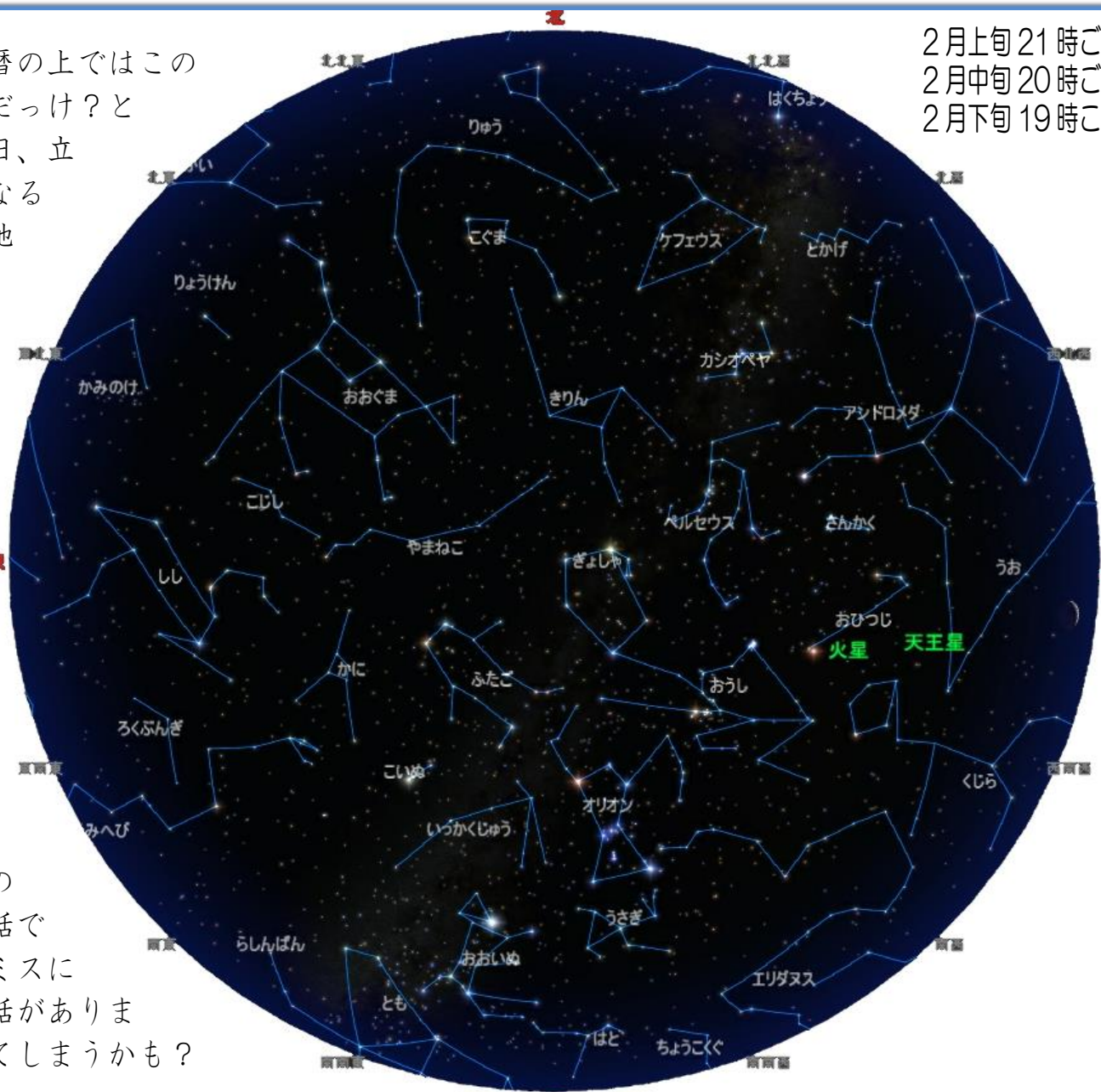
～2月の星空～

令和3年1月26日



しよさんべつ天文台

今月3日は二十四節気の1つ、立春。暦の上ではこの日から春ですが、立春っていつも3日だけ？と思った方は鋭いです。実は、立春が3日、立春の前日と定まっている節分が2日になるのは、明治30年以来124年ぶり。地球が太陽の周りを1周する時間と暦の日数がわずかに違うせいで変動しているのです。暦の上では春と言っても辺りは雪景色、寒さも一番厳しい時期。夜空も冬の星座がどっしりと居座っています。その中でも最も目を引くのは、1等星2個と2等星5個というぜいたくな組み合わせで作られるオリオン座でしょう。見事な姿かたちで古くから知られていますが、オリオン座の神話は悲劇や冴えないお話がほとんど。有名なのは、サソりに刺されて命を落としたという神話ですが、自分の狩りの腕前自慢が過ぎて、神様のご機嫌を損ねたのが原因というのは、ちょっと冴えない話ですね。他には、狩猟と月の女神アルテミスにまつわる悲劇的な物語など、多くの神話がありますが、オリオンに対する見方が変わってしまうかも？



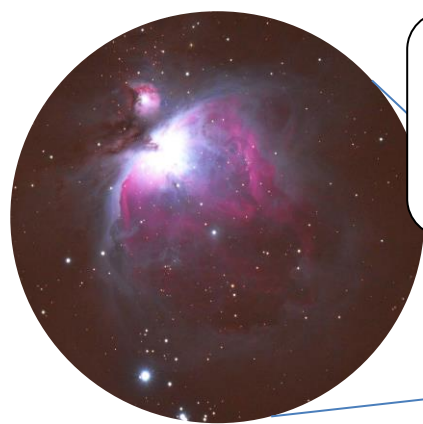
2月上旬 21時ごろ
2月中旬 20時ごろ
2月下旬 19時ごろ

2月の太陽・月と主な惑星の出没

		1日	11日	21日	28日
太陽	出	06:51	06:38	06:23	06:11
	没	16:43	16:57	17:11	17:20
月	出	20:37	06:40	10:54	18:19
	没	08:59	16:04	01:45	06:59
金星	出	06:17	06:16	06:11	06:05
	没	15:31	15:56	16:23	16:41
火星	出	10:12	09:46	09:23	09:07
	没	00:41	00:31	00:21	00:15
木星	出	06:49	06:16	05:43	05:20
	没	16:26	15:59	15:32	15:13
土星	出	06:35	05:59	05:23	04:58
	没	16:01	15:28	14:55	14:31

〈主な惑星〉

水星…8日に内合となり、以降は日の出前の南東の空に移りますが、高度が低く、観望には不向きです。
金星…日の出前の東の空ですが、高度が低く月末にかけて太陽に近づきますので、観望には不向きです。
火星…かなり小さくなりましたが、高度は高いので見やすいです。下旬にはプレアデス星団の近くで輝いています。
木星・土星…太陽に近く、観望には不向きです。



オリオン座大星雲 M42。三ツ星の下にあって、肉眼でもぼんやりと光っているのがわかるほどだよ。鳥が翼を広げたように見えるね。



日 天文現象

- 3 立春(太陽黄経 315°)
- 5 ▼下弦
- 8 水星が内合(地球と太陽の間に入る)
- 12 ●新月
- 18 雨水(太陽黄経 330°)
- 19 月と火星が最接近
月面Xが見える
- 20 △上弦
- 27 ○満月
- 下旬 火星がプレアデス星団に接近

●レアな“X”の当たり年…

月には大小さまざまなクレーターがたくさんあって、このクレーターがいくつか接しているところでは、太陽の光の当たり方によって、文字やマークのような形が浮かび上がって見えることがあります。

最もよく知られているのは、上弦のころ、欠け際にアルファベットの「X(エックス)」の形が浮かび上がって見えるもので、「月面X(エックス)」と呼ばれて親しまれています。

この正体は、互いに接した3つのクレーターの稜線の一番高い部分にだけ太陽の光が当たって、クレーターの底の部分には光が届かずに影になることでX字の形に見えるというものです。

ただし、上弦のころならいつでも見えるというわけではなく、通常は年に数回程度、それも1時間くらいしか見えない“レアもの”なのですが、今年は好条件で見えそうなのが6回もあります。その1回目が、今月19日の17時40分ごろと予想されています。日没から30分程度なので、空に青みが残る中でのことになりますが、双眼鏡を使うと、空の暗さが増すにしたがってはっきりと浮かんでくるX字形が見えるでしょう。

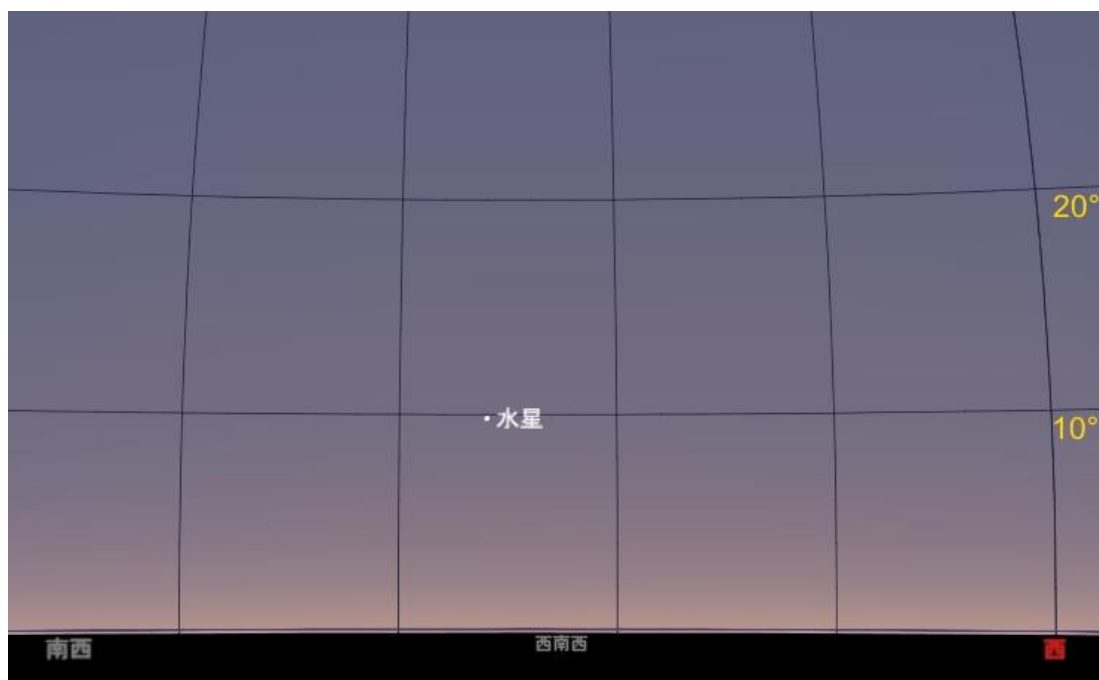
ちなみに、あとの5回はいずれも偶数月で、4月19日、6月17日、8月15日、10月13日、12月11日です。



●今年のカナダ・ベスト…

小さいうに、太陽から一定角度以上離れることがなく、見つけづらい「水星」ですが、1月24日に東方最大離角となり、夕方に見える水星としては今年2番目の好条件となっています。日没から30～40分後の西南西の方向、水平線から10度（腕をいっぱい伸ばした時の握りこぶし1個分）くらいの高さのところを注目してみてください。0等級の明るさで姿を見せています。双眼鏡があれば、よりはっきりとわかるでしょう。

2月8日には太陽と地球の間に入って“内合”となるので、2月に入ると急速に太陽に近づいていきます。見ごろは1月いっぱいくらいでしょう。



※1月31日17時ごろの水星の位置

☆☆☆ 天文台のご利用案内(1月) ☆☆☆

天文台は、12月1日から2月末日まで冬季休館となります。休館中の業務は、自然交流センター（教育委員会）にて行います。お問い合わせなどは教育委員会までお願いいたします。

- TEL/FAX(教委)：0164-67-2136/0164-67-2832
- E-mail(天文台)：tenmon@aurens.or.jp
- E-mail(教委)：kyoui.syakyou@vill.shosanbetsu.lg.jp
- URL= <http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/>

星見人「しよさまる」の

天文クイズ



現在、太陽系の惑星がもつ衛星の総数は200個を超えています。このうち、太陽系で最も小さい惑星である「水星」よりも大きな衛星は何個あるでしょう？（答えは次号で）

- ア 10個
- イ 5個
- ウ 2個
- エ そんなものはない

【前号の答え】ウ（小惑星）

【解説】小惑星「リュウグウ」の探査を終えて地球に戻ってきた「はやぶさ2」は、上空で「リュウグウ」のサンプルの入ったカプセルを切り離したあと、拡張ミッションとして、「1998KY26」という、直径が30mほどしかない小さな小惑星に向かっていきます。到着予定は、およそ10年後、2031年7月です。

My Stars system「村民登録」 随時受け付け中

登録料は無料です。
未登録の方でご希望がありましたら
お問い合わせください。

天文台利用状況（12月末現在）

令和2年度利用者数	2,545名
利用者累計	275,995名
My Stars system 登録者数(一般)	10,098名

【おとがき。】前号から、タイトルや本文の文字フォントを変えたり、星図の背景を白抜きにしたり、全戸配布の用紙を色紙にしたり、あとはこの欄のタイトルを変えたりとマイナーチェンジしましたが、この号を作る段階になって、前号の日付の年号が「令和3年」になっていたことに気づきました。配布するのは12月なのに、何を勘違いしたんですかね～。ご容赦を…。(な)